

鶴見区区政会議 平成27年度第1回 第1部会

1 日時

平成27年6月17日（水） 19時00分～20時30分

2 場所

鶴見区区役所4階 402会議室

3 出席者

（委員）

西田部会長、大原委員、木村委員、宗宮委員、西村委員、林委員、藤井委員

（市会議員）

土岐議員、大橋委員、今井議員

（区役所）

萩副区長、奥本魅力創造課長、小川広報戦略担当課長、筒井魅力創造課長代理、
石川総務課担当係長

4 議題

1. 平成27年度鶴見区区政会議の進め方について
2. 平成26年度鶴見区運営方針自己評価について
3. その他

5 議事

開会 19時00分

○奥本課長 皆さんこんばんは。定刻になりましたので、ただいまから鶴見区区政
会議平成27年度第1回第1部会を開会いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます魅力創造課長の奥本でございます。よろ
しくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして萩副区長からご挨拶を申し上げます。

○萩副区長　　改めまして、こんばんは。夕刻のお忙しい時間帯に出席いただきまして、ありがとうございます。本日は、第1部会の第1回目の会議であります。平成27年度の区政会議の進め方と平成26年度の運営方針の自己評価について事務局から説明をさせてもらってから皆さんにご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

○奥本課長　　まず、冒頭に定足数の確認をさせていただきます。本日は委員定数8名のところ現在6名の方がご出席をいただいておりますので、後ほどまた藤井委員もいらっしゃると思いますが、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

それでは、これより議事進行を西田部会長にお願いいたします。部会長よろしくお願いいたします。

○西田部会長　それでは皆さん方、改めましてこんばんは。暑い日が続いております。皆さん方には元気でお過ごししかとお喜び申し上げます。2月の中ごろでしたかね、26年度最後の第1部会の会合があって以来、久々に皆さん方とお顔を合わせたというところでございます。今、副区長のほうから話がありましたように、本年度、27年度初めての、1回目の第1部会の会合ということでございます。皆さん方のお手元にはもう既に役所から資料を配付させていただいております。まず目を通していただきまして、いろいろとご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、最後までよろしくお願いいたします。

遅れましたけども部会長の西田でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。また、本日は初めての部会ということで、どうぞ皆さん方には今申しましたようによろしくお願いいたします。

まず会議の公開についてでございますが、本部会はこれまでと同様全て公開としたいと思っておりますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。また、これまで報道関係の写真撮影、また録画についても個人情報を含むなどの事情がない限り議事開始後にご承認をいただいておりますので、今回も同様の取り扱いとしたいと思ひ

ますので、ご理解ください。

早速ではございますが、議題1「平成27年度鶴見区区政会議の進め方について」、事務局から報告していただきたいと思いますので、事務局のほうよりよろしくお願い申し上げます。

○奥本課長 それでは、右肩に資料1といたしまして平成27年度鶴見区政会議スケジュール案という資料をご覧いただきたいと思います。では、27年度の区政会議の進め方について説明をさせていただきます。

まず6月17日、本日です。第1回の部会につきまして、平成26年度鶴見区運営方針の自己評価に関するご意見を頂戴したいと思っております。第1回部会后6月30日に全体会を開催し、各部会で出されたご意見を共有化するとともに第1部会以外の項目につきましても、大局的な見地からご意見をいただきたいと思いますと考えております。

次に9月です。9月の第2回部会では、来年度、平成28年度ですけれども、来年度の区運営方針を作成するに当たっての方向性を部会ごとにお示しをさせていただきます。委員の皆様のご意見をいただきたいと思いますと考えております。現委員の皆様方の任期が平成27年9月30日までとなっておりますので、10月には新しいメンバーの皆様による全体会を開催し、平成27年度の区運営方針及び予算の説明をさせていただく予定としております。

その後11月の第3回部会、12月の第3回全体会におきまして平成28年度の区運営方針の素案に対するご意見をいただきたいと思いますと考えております。

年度終盤になりますけれども、2月には第4回全体会として区政会議でのご意見を受け、策定した区運営方針（案）及び予算案についての説明をさせていただく予定としております。

平成27年度の鶴見区区政会議の年間スケジュールについての説明は以上でございます。

○西田部会長 ありがとうございます。ただいま奥本課長から説明いただきました。

それにつきまして皆さん方からご意見をいただきたいと存じますので、ご意見があればどんどんしていただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

今年の9月までが今の我々のこのメンバーということで、新たに10月ですか、新しく。それは募集方法というのですか、何か考えてますか。

○奥本課長　そうですね。10月から新任期が始まり、委員定足が25名ですけれども、そのうちの5名につきましては「公募」という形にさせていただく。それにつきましては、「その他」の議題のところで事務局から説明をさせていただこうと思っております。

○西田部会長　ありがとうございます。何か皆さん方のほうでご意見があれば、どうぞお願いします。時間も今日は1時間とゆっくりと時間っております。早いようで時間かかるんじゃないかと思えます。だから、そういうことで皆さん方のご意見もどんどん出していただくことが目的でございますので、遠慮なくお願いしたいと思います。

私も余談ですけども、ちょっとほかのことでもお話ししたいことがありますので、後ほどまたお話しさせてもらおうと思っております。

今のご意見につきまして皆さん方いかがでしょうか。

○宗宮委員　宗宮です。スケジュールについては今提案のあった内容でいいかと思えます。

○奥本課長　ありがとうございます。

○西田部会長　それでしたらご意見がないようですので、次の議題に進みたいと思います。議題の2番、「平成26年度の運営方針自己評価」につきまして、事務局からよろしくお願い申し上げます。

○奥本課長　では、説明いたします。「平成26年度の鶴見区運営方針の自己評価について」でございますが、この自己評価は運営方針に記載の戦略と具体的取組につきましてそれぞれの目標の達成状況を点検いたしまして、その有効性を評価すること

によって必要な施策の改善、見直しを行い来年度の運営方針や予算編成への反映を図ることを目的に行っております。

委員の皆様には事前に全ての課題の自己評価シートをお送りしておりますけれども、本日は特に第1部会所管の課題につきまして、資料3の区運営方針自己評価説明シートにより説明をさせていただきたいと思えます。

今右肩に資料3といたしまして「自己評価シート説明資料」をご覧いただきたいと思うんですけれども、まずこの部会は経営課題の1、「区のブランド価値向上」について議論することとなっております。その戦略として鶴見緑地のブランド価値向上というものをうたっております。戦略ですけれども、緑地の情報を広く発信し、幅広い人たちが参加しやすい魅力ある取組みを行っていくとしておりました。昨年度におきましてはその具体的な取組みといたしまして、その下の真ん中ぐらいの四角囲みですけれども、1-1-1、鶴見緑地を主会場とした事業・イベントの取組みと1-1-2、その緑地の活性化にかかる取組み等の情報発信に取り組んでまいりました。

1-1-1のところですが、その取組内容といたしまして地域、区、関係機関等と協働したイベントについて取組みを進めるとしておりました。取組実績ですが、こちらはスライドをご用意しておりますので、そちらのほうで説明をさせていただきます。こちらのほうご覧いただきたいと思えます。

まず、つるみブランドフェスティバルでございます。鶴見区のマスコットキャラクターつるりっぷの普及、鶴見区の新ブランドつるりっぷパンとかクッキーの販売をしまして、大人から子どもまでが楽しめる緑地のイベントを開催することで地域の振興とか鶴見区への愛着、引いては鶴見区のにぎわい、魅力向上を図ることを目的に平成25年から実施しております。区役所もそうなんですけれども、地域の皆さんとか、商店会連盟、学校が協働した取組みになっております。実際こちらのほうですが、緑地・大池の南側の花桟敷で実施しております。かなり借景がいい雰囲気です。さしていただいております、こういった形で平成26年度ですけど、このような子ども

のダンスもしておりますし、また大道芸の方に来ていただいて道行く人々に「こういうイベントがありますよ」ということの周知もしていただいております。食の取組みもしております、花栈敷の上の部分ではこういったテントを出しまして、来られた来場者の方々に食の楽しみも提供させていただいています。

これ今年ですけども、5月3日にもう既に開催をさせていただいております。場所は花栈敷、大池周辺のところでさせていただいております、鶴見商業高校の軽音楽部の方たちがオープニングを飾っていただきました。地域の子どもたちの踊りもありまして、あと先ほど申し上げましたつるりっぷパンとかクッキーの販売を、鶴見商業高校のほうでご協力いただいております。これがクッキーですね。つるりっぷの形、さまざまな形をしておりますけれども、そういったものの販売もしております。

こちらは食の取組みですね。地域の方々が出ていただいている食の取組みになっております。

つるりっぷですね、ブランドフェスティバルで人気あるんですけども、つるりっぷの写真撮影会、こういった形でさせていただいております、やはり子どもたちにとっては非常に人気がある存在になっていっております。

花栈敷の階段状のところですけども、こういった観客スタンドという形でさせていただいております、非常に多くの方が参加していただきました。こちらは鶴見商業高校のダンス部の方々の演技です。

あと、鶴見区音楽大使の渡 琢矢さんですけども、その方のステージも披露させていただきます。

次ですけども、農事体験のいも苗植え、いも掘りプロジェクト、農事体験プロジェクトも昨年度させていただきました。25年度からスタートしている事業ですけども、これが昨年の風景です。昨年の6月に開催スタートさせていただきまして、小学生以下の子ども及び保護者の129組の方が、これ花き園芸場ですけども、参加

をしていただいております。子どもがこういった形でスコップを持って作業に従事し、参加者の方たちで畝をつくって自分たちで苗を植えていただいております。農事体験ということでさせていただいております、こちらかなり蔦があるんですけれども、水やりとか除草するのも参加者自身で、子どもたち自身でこういったことも取り組んでいただいております。

こちらの写真が11月の収穫の写真になっています。参加者からは「子どもにこういう農事体験をさせることができて非常にうれしかった」という保護者の方のお声もありましたし、また子どもたちからは「おもしろい」とか、土さわりますので虫が出てきたということで歓声を上げていたシーンもありました。子どもにとっても非常に楽しいイベントとなっています。サツマイモはいっぱい採れました。

今年の5月号より小学生を対象の事業につきまして、小学校を通じて全学年全児童に「つるみっ子だより」を配布させていただいております。その紙面の中でサツマイモの農事体験につきまして公募もさせていただいております。公募した結果、5月30日スタートしたところの受付の写真ですけれども、去年が129組で今年は抽せんという形になりましたけれども、150組の方が参加していただいております。

この苗ですけれども、大阪鶴見ロータリークラブからのご寄附でいただいております。

これは今年ですけれども、作業について説明を受けているシーンです。こちらが提供いただいたいもの苗です。こういったものを土に植えていきます。

今年も昨年と同様畝から参加者がつくってスコップで両側の土を真ん中側に盛り上げていく畝づくり、こういったこともしていただいております。親子で参加もしていただいております。こういった形で農事体験も実施させていただいております。

次はコスプレDAYです。コスプレですけれども、平成26年、昨年の5月から実施をさせていただいております、目的はコスプレをされるコスプレイヤーのマナー違反について苦情が多くあったことから、公園利用のマナー向上、区の魅力アップの

目的で実施させていただいております。昨年５月から１２月まで実施させていただいて、利用者が延べ５０５名の方がこういった形で利用をしていただいております。ところどころ写真撮影もさせていただいております。

こちらの写真ですけれども、こちらが去年の８月に関西テレビの取材を受けたときです。非常に注目を浴びた取組みでした。こういった形のマスコミの取材も受けております。風車の前でポーズをとって写真を撮られてるシーンになっています。

緑地の政府苑跡の建物がありまして、そちらをクロークとか更衣室として利用させていただいております。

この真ん中にいらっしゃる男性の方ですけれども、こちらがプロデューサーで宝塚大学の神澤先生です。こういったコスプレに詳しくて、参加者にマナーの講習を行っていただいております。こちらも６月に朝日新聞に取り上げられています。

次は鶴見区制４０周年記念音楽祭です。これはそのときのチラシですけれども、２部構成で１部のほうが４０周年の記念式典をしまして、２部がこの音楽祭となっています。９５０名の方が来場していただきまして、こちらがそのシーンで、こちら公募で出演されている方々です。この公募枠でエントリーされた出演者の中から会場の皆さんがグランプリを選ぶ人気投票を実施いたしました。その人気投票で１位を獲得したグループ、個人の方も含めてですが、その方には、鶴見区の音楽大使として鶴見区主催のイベント開催時には出演できるという特典がついていました。非常に多くの方が来場をし、いろんな方が公募でエントリーをしていただいております。

こちらはエントリー枠ではなくて鶴見区音楽団の方々の演奏です。また、区内の中学校の吹奏楽部とか音楽部の方々にも出演していただきました。これは鶴見区民合唱団の方々のシーンです。また、こちらは式典の終わりに会場の皆さんによる人気投票で鶴見区音楽大使にこの渡 琢矢さんが選ばれたシーンになっています。

次はスポーツフェスティバル I N 鶴見緑地です。大阪にゆかりの選手、チームが区内の小中学生を対象にサッカーとかテニス、バレーボールの教室を開催いたしました。

昨年の８月ですけれども、トップアスリートとかコーチによる直接指導ということで、小中学生の非常に満足度の高いイベントになっています。

こちらサッカー教室ですね。鶴見緑地球技場で行いましたけれども、セレッソ大阪の森島さんによる指導でした。この森島さんですけれども、サッカーのワールドカップにも出場されまして、得点もあげられたという非常に有名な選手でございます。今はセレッソのアンバサダーということで現役は引退されていますけれども、非常に人気のある方でして、小中学生１２０名の子どもたちがこういった形で直接指導を受けられました。

次は緑地内のテニスコートで、中央にいらっしゃる男性の方がプロテニスプレイヤーの神和住 純さんです。人気のある選手で、お名前を憶のある方もいらっしゃると思いますが、その方の直接指導を子どもたちが受けられました。非常に暑い日でしたが、子どもたちも元気にテニスの指導を受けていました。初めてテニスをする子もいたんですけれども、おもしろがって球を追いかけていました。テニスは８３名の子どもたちが参加しました。

次はパナソニック パンサーズのバレーボールの選手によるバレーボールの指導です。バレーボールは１０８名の子どもたちが参加をしています。非常に高い打点で子どもたちは驚いていましたし、バレーをしていない小さなお子さんでも楽しめるようなプログラムになっておりました。

引き続きまして、TSURUMI サウンドフェスティバルです。こちらは花博記念ホール前で１１月に開催いたしました。来場者数が１，６３０名と非常に多くの方が集まっていたイベントですけれども、この方は沖縄の三線奏者の新田開山さん、先ほどの音楽大使になられた渡 琢矢さん、こちらはゴスペルクアイアの方たち、ジャズの J V i r g o さんによる演奏もあり、非常に多くの方たちがその演奏に聴き入っている写真もあります。こちらもジャズの方たちの演奏になっています。また、子どもたちを対象にしたオカリナづくりのワークショップも同時に開催させていただきました。

きました。こちらのほうですけれども、特定非営利法人のシニア自然大学校の方々のご指導によって子どもたちと一緒にこういった形のオカリナを作成しました。

次が鶴見活性化の楽園会議「古着でハチャメチャ王国」です。こちらですね、この楽園会議によるイベントで昨年の11月に実施いたしました。楽園会議ですけれども、鶴見区の魅力アップとか活性化につながるイベントを企画から運営実施まで全てやっていただける区民のボランティアの方たちのグループです。

今回のこのイベントですけれども、「古着でハチャメチャ王国」は小学生以下の子どもを対象としまして、子どもたちがふだん体験できない自由なアート、「エコ」をテーマに古着にポスターカラーでお絵かきした後、親子でファッションショーを行う内容になっています。こういったことで親子でポスターカラーで古着にいろいろと色をつけていくイベントでした。手形とかいろいろついてますけれども、小さい子どもからお父さん、お母さん、保護者の方まで参加していただきました。ここ白い通路みたいになってますけれども、こちらファッションショーのステージになっています。この人はDJのジンバブエさんという方ですけれども、この方のDJでファッションショーが行われておりまして、子どもたちが先ほどの色がついた古着を着ながらこういうファッションショーも行いました。この方たちが楽園会議のメンバーの方たちです。鶴見活性化楽園会議につきましては、今年の大阪日日新聞新春特別号にも掲載されましたし、先ほどの古着のペイントのイベントですけれども、こちらにつきましては大阪日日新聞にも掲載していただきました。

次は、光の花栈敷というイベントです。こちらも花栈敷で開催をしましたけれども、ろうそく行灯2,500個による環境の演出だとかレーザー光線による光の演出。また、オリジナル行灯シェードづくり。そういったワークショップとかミュージシャンによるアコースティックライブも、ここで開催をさせていただきました。12月ですので、非常に寒い晩ですけれども、多くの方が集まっていただきまして、1万4,300名の方が来場していただきました。この中学生以下の子どもたちを対象とした行

灯シェードづくりのワークショップで親子で一緒につくっていただきました。145名の子どもたちが参加をいたしました。いろいろな絵を描いたりですね、図を書いたりして楽しんでいただいています。これを丸めて行灯にする。行灯シェードになっています。ここに、「TSURUMI」と書いてますけれども、こういった形で並べたり、階段状のところに置いて活用させていただいています。こちらが、レーザー光線による様子になっています。非常にきらびやかですね、「おもしろかった」という声をたくさん伺っています。冬の寒い夜にもかかわりませず、多くの方が来ていただいています。また、ミュージシャンによるライブも同時にさせていただいています。こちら先ほどの行灯、このように火が灯されています。これにつきましても、産経新聞にも取り上げていただきました。こちらは大阪日日新聞、このように新聞にも取り上げていただいております。

次が、春の草花散策ウォークです。こちらも区民のボランティアによる見どころ案内とか、ウォーキング指導士によるウォーキング講座、スポーツボランティアによるコース案内などによって春の花が咲き始める緑地公園内でウォーキングイベントを開催いたしました。300名の方が参加をしていただきました。こちらが、鶴見緑地の草花について詳しい区民ボランティアの方のご説明をいただいているシーンでございます。あと、専門家によるウォーキングの準備体操しているシーンでございます。こういった形で皆さん歩いていただきます。ショートコースが4キロ、ロングコースが8キロ。どちらかを選択していただきまして、散策をしていただきました。完歩、最後まで歩いていただいた参加者には「完歩証」を進呈いたしまして、それを提示することによって、咲くやこの花館、当日ですけれども無料入館していただけるという特典をつけさせていただいております。こういった形でポイント、ポイントでチェックポイントもあります。最後、ゴール受付で完歩証をこちらで進呈しています。あと、鶴見緑地の風車の丘で咲きましたチューリップの球根ですけれども、球根につきましては、昨年度、区内の幼稚園、保育園、また一般の区民の方に6,000個を配布させ

ていただいております。こういったことをさせていただいて、区役所としましての評価ですけれども、目標を達成して、取組み状況につきましては、予定どおり進捗をいたしましたと評価をさせていただいております。ちなみに、参考指標として業績目標の欄ですけれども、鶴見緑地を主会場とした取組みを知っていますかっていうことの認知度で70%以上という目標を掲げさせていただいております、目標達成として75.4%という状況になっております。

次ですけれども、1-1-2。鶴見緑地の活性化にかかる取組み等の情報発信等です。取組内容といたしましては、鶴見緑地の取組みへの関心を高めるために、さまざまな媒体を活用した情報発信を行うとしております。実績ですけれども、こちらに書かせていただいておりますけれども、鶴見緑地情報サイト。昨年の4月に開設をさせていただいて、アクセス数が38,320件でした。区役所の評価といたしましては、目標を達成して取組みは予定どおり進捗したと評価をしております。ちなみに参考指標として、業績目標ですけれども、区のホームページのアクセス数、前年度10%アップという目標を掲げさせていただいていたんですけれども、結果として、前年度比の月平均で8.1倍と非常に大きな伸びになっております。その下のところに、課題といたしまして、より利用者の利便性向上を図るため、平成27年度以降、鶴見緑地指定管理者との連携を図る必要があると考えておりまして、その改善策ですけれども、指定管理者と、協議・調整を行って、その情報サイトを指定管理者のホームページへ一元化をさせていただいて、より迅速で広範囲な情報提供を行っております

鶴見区役所のホームページにもすぐにわかるような形で一番中央の一番目につくところ、こちらのほうにそのサイトのバナーをつけさせていただいております、これをクリックすると、こういった形で、鶴見緑地のホームページのトップページになりますけれども、イベントの情報もすぐにわかるよう工夫しておりますし、地図、マップですね、園内のマップにつきましてもこういった形で、つけさせていただいて、より情報を取りやすくするような工夫もさせていただいております。これら具体的取組

みを通じまして、一番上の四角囲みのところです。資料3の上の四角囲みのところ、アウトカムですけれども、どういう状態をめざすのか、どういう具体的取組みをして、数年後どういう状態をめざすのかということですが、音楽、スポーツ、環境教育などの取組みを通じまして、鶴見緑地の魅力が向上したとじていただける区民の割合、これを28年度までに、75%以上としておりまして、26年度、その達成状況ですけれども、42.9%と前年度から、前年度が19%で、伸びておりまして、区役所評価といたしましては、「順調」と評価をさせていただいております。26年度に関しましては、こういった取組みをさせていただきましたけれども、今年度、27年度につきましては、26年度は緑地を中心にさせていただいたんですけれども、27年度、本年度は区のシンボルである鶴見緑地の魅力を、最大限に引き出して、コンテンツの1つとして、有効に活用していきながら、27年度本年度は区全体にも目を向けて、点在する名所旧跡といった区の歴史やまちの魅力を再認識、再発見していく、そういった事業とか、環境イベントなどを通じて、地域を活性化し、まちのにぎわいというものを創出していきたい。27年度につきましては、区全体に目を向けて、魅力の再発見、歴史の再認識に力を入れていきたいと考えております。資料3につきましては、説明は以上でございます。

○西田部会長　　そうですか。ありがとうございます。

今皆さん方、画面によりまして、非常にわかりやすく、資料について一応家でもらってですね、目を通してのんですけれども、ここまで詳しくね、こんないろんな事業をしているというようなところまで、ちょっとわかってなかった、感心しているところでございます。

奥本課長のほうからもお話ありました26年度につきましては、今説明していただいたとおりでございます。しかし、また本年度、やはり、我々のこの第1部会は特に鶴見緑地をどんなふうにして利用していくか、皆さんが喜んでいただける緑地にしていくかということが、第1部会の課題でございますので、いろいろとそれについても、

今後はですね、やはり魅力ある緑地にしていくというのがこれがまず第1番であるかなというふうに感じております。今説明していただきました中で、皆さん方のほうで、いろいろとご意見もあろうかと思えます。たくさんございましたので、1点ずつ自分なりに気がついた点で結構ですので、恐れ入りますが、1つ、1点でも皆さん方のほうから、質問なり、また、報告をしていただきたいと思います。恐れ入りますが、順番でお願いできますか。ひとつよろしく申し上げます。

○宗宮委員　いきなり中身に入る前に、ちょっと文章を前からずっと見させてもらって、アウトカムと言うような横文字がいっぱい出てきたり、ファシリテーションとか、ソーシャルビジネスやとか、コミュニティビジネスやとかいうふうな形で、横文字が本当に氾濫しているっていうのが、わかりやすい発信ということで、どうなのかというのを、アウトカムは成果というふうな意味で使ってはるんやと思うんですけども、だったら、もうちょっと誰でもがわかるようなことでええんではないかなっていうのを、ちょっと全体読んだときに感じたことなんで、それがまず1つです。

それと、取組状況はまさに鶴見区区政会議を開いて、住民参加ができるということで、大阪市鶴見区民の財産である鶴見緑地をどれだけ活用していくのかということで、区役所の姿勢自体が本当に変わってきて、これだけのことをやられているということについては、本当に今、部会長の西田さんからありましたけれども、僕もびっくりしていて、こんだけのことをやるようになったんだなというようなことを本当に感じています。どれもそういう意味では、育てていかなあかん取組みやということで、皆、生まれたばかりの取組みやろっていうふうに思うんですけども、例えばですね、コスプレなんかでも、取組みをしてるっていうことについて、もちろんプラス評価ということで私自身思ってるんですけども、何かどっかちょっと中途半端なのかなという。例えば、昨年夏、僕はちょっと名古屋のほうに行ったり、東京のほうに行ったり幕張の周辺行ったりといったときに、たまたま、名古屋でコスプレのイベントがあったというときには、町中あふれとるんですよ。鶴見緑地という、行ってみたら舞台

があって、なにかこう、やり方でもう一工夫、二工夫すれば、爆発的な参加っていうふうなことがあってもよさそうなものやのに、数字として500人程度のコスプレというのはね、コスプレの今どきのイベントとしては非常にささやかやなということで、なにか、吹っ切れないところが、そのイベントの中にあるのかなというふうなことをちょっと感じました。

区が主催している光の花栈敷なんか15,000人の動員数ということでいうたら、びっくりするような取組みをされてるというふうに思うんですけども、これはちょっと前にもお話させてもらったんですが、区が中心になるっていうことで、たくさんのイベントが実施されるっていうことは、ものすごくいいことやというプラス評価の上での話なんですけども、ブランドフェスティバルでも区役所の職員の方が、走り回ってるのがものすごく目につくんですが、地域の方、区民まつりなんかで活躍されてる連合の方とかね、その地域の方が、もっとこう自分のお祭りやということで、主体的に動いてるという姿っていうのをやはりもうちょっとこう考えていくということで、例えば、ええまちネットのチャンネルを使うとか。そういったことを区単独でやる、ブランドフェスティバルなんか商店会とか学校使っておられるわけですけども、やっぱり地域のそういった諸団体との連携っていうことをもう少しされるということのほうが、いいのではないかなというのをちょっと実感させていただいたということがありますし。

○西田部会長 ありがとうございます。木村委員何かございましたら。

○木村委員 私も拝見させてもらって、年間通じて、イベントたくさんこれだけやっているのかっていうのは事実びっくりしたところですわ。これが、なんていうんですかね、毎年同じようにやっていくのか、また、発展して考えて切り捨てるもんは切り捨てて、伸ばすもんは伸ばしていくんでしょうけども、頑張っていたらいいなと思います。以上です。

○西田部会長 では大原君、どうぞ。

○大原委員　私、簡単なんですけど3つだけいいですか。簡単に言います。

いろいろイベントやっていただいてるっていうのは非常に私も思いまして、区民の評価も高いのかなと思ってのんです。なんですけど、42.9%ってのは、僕はどちらかというと、思ったよりもなんか達成状況は低いんだなっていう感じなんですね。と言うのは多分、これは全体のアンケート取られた中で、そのイベントに参加される年代とか、されない年代の方とかいらっちゃって、傾斜があるのかなと思ったんですね。全くこのイベントにかかわらない方たちの評価は、聞き方によっては上がらないのかなと思ってのんです。年齢別的っていうか、世代別の解析っていうのをやっていただいたのがいいのかなと思ったんですね。

2番目の話は、プラスの取組みをやっていただいてるんですけども、マイナスの取組み。マイナスというのは、なぜこの42.9%以外の57.1%はマイナスになってるのか。まずは評価が上がっていないのかっていう解析はしていただいたほうがいいのかなと思うんです。マイナスを減らすことによって、プラスも増えるのかなと、まず思います。

3番目が広報的な話になるんですが。ホームページ、私も見させていただいて、すごく見やすくなってわかりやすくなったなというように思うんです。800%っていうのは、水春とかフットサルだとかドッグランとか。そういった部分もあるのかなと思いますね。若い子が結構アクセスしてるのかなと。友人もそう言ってましたし。ホームページの使い方っていうのはすごくいいなと思うんですけども、広報のやり方、もう1つ手を加える形があってもいいのかなと思うんですね。例えば、小学校のメールも使っておられるかなと思うんですけども、そういった連絡網であったり、あとは別のほうで区役所発の防犯パトロールですよ。年間244回出るとあったので、防犯の色が薄くなってはいけないんですけど、こういったパトロールを使いながら何か戦略化。絵空事かもわからないんですけども、そういった形でも、ついでにできれば、もっと区民の皆さんに知っていただけるきっかけが増えるのかなという

ふうに思いました。できるものとできないもの、当然あると思うんですけども、協議いただければと思います。以上です。

○西田部会長 ありがとうございます。ご苦労さん。それでは、西村さん。

○西村委員 こうやって区政会議に参加させていただいて、いろいろワークショップしたりとか、鶴見緑地を見に行ったりとかした中で、話したこととか、ちょっとなんかこういう形になったのかと思うようなことが、結構イベントであったりとかして、私も見に行ったり、参加したりはしたんですけども、今スライドで見せてもらって、区が介入して、区が主催でされることに関しては、かなり広報も、私、息子も娘もいるので、学校から配布されたものであったり、子どもの広報紙も私も目を通しました。ただ、このさっき説明いただいた中で、楽園会議のイベントっていうのも多分区が主催なんですよねあれ。楽園会議さんのやと思うんですけど、そういうのも、こういうふうに区で鶴見緑地を主催としたイベントの中に入れるのであれば、もうちょっと鶴見区のほうでも、もう少ししっかりバックアップしてあげて、宣伝してあげるなり、もうちょっとこうしてあげないと、ここに実績として載せるのに、載せてはいるのに、結局、他のものに関してはちゃんとチラシなり、ポスターなり配布もしたり、いろいろしてはると思うんですけど、楽園会議さん、すごい自分らですごく頑張ってはりますよね。私も知り合いの方がいらっしゃるんですけども。そういうのって、せっかく鶴見緑地をどうしていこうとか、子どもたちによくしてあげようとか、区の人をたくさんしてあげようっと思って、ボランティアさんしてる部分すごくあるのに、そういうのバックアップするシステムっていうのはないのかなっていうのは。結局、そんな、それでやってはって、180名参加されてるのは、やっぱりなかなかのやっぱり魅力とか、いろいろなご苦労があって、この180名だと思うんですね。だからそういうのを、もうちょっとしっかりバックアップしていくようになれば、私たちも鶴見緑地使ってこういうことがしたいっていう意見が上がってくると思いますし、私ら9月末までの任期ですけども、公募されたとしても、どういうことがしたくて、どう

いうふうに鶴見区をしたくて、こういう区政会議に来たいと思うのかっていうのにもつながると思うので、そういうところの窓口をもうちょっと広げて、意見が全く100%じゃないかもしれないけど、意見がこうやって反映されてきたんだとかこういうふうによくなったんだとか、こういうふうに聞いてくださったんだっていうやっぱり身に染みてわかるようなことっていうのを、やっぱりこう返していただけると一番いいのかなって思います。

○西田部会長 ありがとうございました。それでは林委員。

○林委員 今見させていただきまして、いろいろとやっていただいてるんやなと思っておりますけども。私らメディア、そんなよう見ませんのでね、やっぱりチラシとかで、回覧板回させてもらってますねんけども。今、「まち歩き」っていうてはりましたね。地域の茨田北歩くとか。あれを1本にしてもらいたいなっていうのはちょっと。こっちの側も歩く、こっちの人も歩くっていうふうになってますねや。

○西田部会長 なんて。まち歩き、どういうこと。

○林委員 まちセンさんが歩く、こっちの区役所の地域活動が歩くとか。

○奥本課長 活動支援の。まちセンさんが企画されてる。

○林委員 今日の会合とはまた別かもわかりませんけども。茨田北歩かれるちゅうことなんでね。また、違う人茨田北歩かれていますんでね。

○西田部会長 ちょっとまたそれ。

○奥本課長 地域活動支援課のほうで委託されている、まちセンさんですよ。まちづくり支援センターさんが、そういう茨田北を歩くような。

○林委員 一緒にね、話し合いをしてしようかという。こっちはこっちです。こっちもするちゅう感じ受けますねんわ。1本にして一緒にやるとかね。

○奥本課長 情報を共有してですね。

○西田部会長 それ、考えて、してあげて。その話ね。

○奥本課長 情報共有して。

○西田部会長 そしたら、藤井委員さん。

○藤井委員 大体、同じようなご意見出てるんですけども、たくさん取り組まれて実績もたくさん出てるんですけども、西村委員もおっしゃったように、私はちょっとよくわかってなかった、古着でハチャメチャ王国なんかは、広報の仕方がどうかっていうこともあったと思うんですけども、楽しいかもしれないけれど、1回やって楽しかったなっていうような取組み、イベントばかりをするのはどうなのかなっていうのをちょっと感じたんで、多分、それは、今後考えて選ばれて、また、たくさん来られるとか、認知度が広がるものが考えられると思うんですけども、1回やって楽しかったなっていうイベントをどんどん羅列するのは、どうなのかなって思ったことと。

広報的なことでちょっとお伺いしたいんですけども、私自身も小学生の子どもがいるんですけども、ずっと鶴見っ子です。ただ、地域の小学校に通ってません。私学に通ってるので、チラシとかは、「つるみっ子だより」なんかは、地域の小学校を通じて配布ってなってるんですけども、地域の小学校に所属してない鶴見っ子は、そういう広報は全く流れて来ないっていう状態で、反対に小学校って限られると、幼稚園団体してますので、幼稚園に回って来た情報は、我が子にはもちろんわかる、私自身がわかるので、私ごとなのかもしれないですけども、伝えていろいろ参加はできるんですけども、自分がわからないことに関しては、何も手が打ってあげれないっていう、ちょっとかわいそうな、同じ鶴見っ子なのにちょっと環境が違うだけで、そういうはぐれた子っていうのがきつーと思うんです。そういうこともちょっと考えて、地域の子だけじゃなくて、全体に多分広報入れるときに一緒に入れていただくとか、考えていただいてもいいのかなと思ったりもしました。

あと、ちょっとわかってないんですけども、この具体的取組の目標達成の目標達成状況の認知度っていうのはどういうふうにはかれて、認知度は出ているのですか。

○奥本課長 アンケートです。

○藤井委員 アンケート。わかりました。ありがとうございます。幼稚園団体ですので、今回はチューリップの球根をたくさんいただきまして、たくさん子どもたちと植えて楽しい経験で、最後ちゃんとお花が咲いて喜んでっていう活動もできましたので、今後ともこういう活動が続けていただきたいと思います。

○西田部会長 ありがとうございます。私、最後。最後っていうのはおかしいな。

今、西村委員がおっしゃったようにね、つくづくいつも感じてます。広報、皆さん方に連絡、今ね、例えばローカルとか広報つるみとか、いろんな形の中で皆さん周知してます。ところがね、なかなか末端まで届いてないというのが大概。たまたま、ちょっと私ごとで申しわけない。私のところで、先週運動会がありました。それで、アンケートを取ったんですよ。運動会に何回参加したか、年齢とか、この運動会は誰から聞いて知ったかとか、いろいろその6つ、7つ項目があったんですよ。「地域活動協議会、知ってますか」っていうのを最後に載せたんですよ。そしたら半分はね、今日たまたま会館で調べてきたら、120ほどある内の50ほどね、「地域活動協議会、知らない」という方が多かったよ。私ちょっとショックでね、今日、ちょっと実は。

「へえ、こんなんかな」思って。ところが、年代的には低い層ですけどね。ところが、30代、40代の人でもね、知らない。余り知りませんというのが多くなって、ちょっとショックでしたけど。ちょっと余談な話やけど。その広報いうのに対して特に大事なことやと思います。すごくいろんな面で、我々連合としても広報についてはね、特にどんなふうに周知していこかという話を今ずっとやってます。たまたま、ご存じのように、先々週、鶴見緑地内で6月6日、7日。アウトドアって食博やりましたね、これもね、実は、昨日ちょっと理事会ありまして、ちょっとええまちネットで追いましたけどもね。実際3,500人ぐらいしか来てない。残念でしょうがない。これね、当初ね。多分、宗宮さん知ってはると思うけど、大体10万ぐらいの予想やと。大きい話やないけど、それはスタートしますねん、実は。ところがね、それが、5万になり3万になり。最終的に1万ぐらいは来るやろうと、例えば、比較したらあかんけど、

区民まつりと同じようにね、やっぱり3万ぐらいはというような、当初予定でやってきたんですけども、きのう締めて見るとですね、実際は、参加者は5,000人からおるんですけどね、チケットとかいろんなもん、入場した人がいると。3,400人です。しかなかったんですよ。これはまた報告しますけどね。そんなん、非常に残念だなと。もうちょっと周知のほうが悪かったかなとか、ちょっと反省をしております、委員として我々もね。しかしながら、こういうイベントをね、今、西村さんがおっしゃったように、やはり、今まで役所が主体でこうやった場合はね、割といろんな面で参加者が多かったわけ。今、申しわけないけども、こないだの今私が言うてる、アウトドア、食博についてはね、ええまちネットのほうで主催してるわけ。役所のほうは、応援という形で多分出してたはずですよ。そんなん、これから、やっぱりそれは考えていかんとね。とにかくこれだけの広い緑地という大きな場所があって、何万人も入れるような場所があって、だから、周知の方法をしっかりと考えていこう。また、鶴見区内の人間だけやなしに、近隣の大東市もあれば、守口市もあるし、都島区もあるし、ほかもあると。もう幅広くね、たまたま日曜日なんかやったら、もう、ご存じのように緑地のほうには、たくさんのよその市外から来る人が多いんです。そういうような状況でね、もう本当に宣伝文句じゃないけど、ちょっと遅かったかなと思っと思っていますけれども、これはもうできるだけ早く、早い目に、周知をしてね。いろんな面で周知し、極端な話、電車の中でもわっと載せるぐらいの地下鉄乗ってもね、貼ってるぐらいの、そのぐらい思っていて、とにかくイベントに来年度もこれをやろうということで我々も決めています。そういうことで皆さんに周知を一番大事なことです、物事何するにしてもやっぱり知っていただくこと、知っていただくことによって参加してもらえんというふうに思っていますので、いろいろと役所のほうもちょっといろいろ変わってますけれども、今後ともやはり我々今いうええまちネットについても役所もっと応援してほしいというのも一つお願いしときます。

それともう一点はこの前さっき奥本課長のほうから映してもうたけど、いも掘り、

あれも150組ですか、参加ね。もったいないですよ。あんなだけのいもようけあってね。あれ何かどうせ動物の餌に持っていくとかって聞いているねんけど。余ったいも。

○奥本課長 皆さんお持ち帰り。

○西田部会長 昨年、おとしなんかごつつい残ってしもうて、どうすんねやって聞かしてん、直接。そしたら「これは天王寺動物園の餌に持っていきます。そやから別に余ってもいいです」こんなふうに言われて、ロータリーの人に。もったいないからね。昨年度は私ちょっとよう行かんかったから参加してません。今おととしの話になって2年前の話で申しわけないけども。そんなもったいないことするんであれば、あのときは130組か何かの募集をしてはったと思うんですよ。それがたくさんもつと知らん人も多かったから。それやからできるだけああいうことも、150組とか130組とかそういう限定せんと、それはもういっぱいになるかもわからんけど、量は調整せんといかんけども、私はできるだけ皆さんに子ども連れさんはたくさん来てもらって、皆喜んで持って帰ってもらうことで。私もその去年、おとし、入れるもんがないから袋もらって5つ、6つもらって帰ったけど、結構おいしかったからもったいないなと思いましたんや。そやからもうちょっと申しわけないけど考えて、皆さんが持って帰れるようによう考えてやってくださいな。

○奥本課長 今回、今年であれば150組の方で大体当日5月30日に来られたの500名超えてたんです。ですから花き園芸場もかなりいっぱい、いっぱいになってしまうんですね。ですからもうちょっとまた工夫は必要だと思いますので。

○西田部会長 もったいない、せっかくええいも、大きいいもやったしもったいないいな。そんなもん動物にやんのも。それはそうやって言えへんけども、思い出したね。一つそのあたりもちょっと考えて。

○奥本課長 わかりました。

○西田部会長 それともう一点だけ。今皆さんご存じのように年に2回クリーング

リーンということで掃除してますわな。これは連長会議でも話が出てるんやけども、参加者がだんだん少なくなってるというような現状なんです。それで私もちょっと余談で悪いけど申しわけないけど、朝いつも2時間、6時半か7時ころには必ず緑地一周してますねん。2時間歩いてるんですよ。それ大体9時ころまでずっと回ってるんですよ。そしたらやっぱり個人的にごみを拾ったりとかいう人もおられます。また逆に犬とか猫とかおるんで、餌やりにきたりとか、鳥とかサギか、何か小さい魚を持ってきて、そら鳥ものすごいようしてもら。その人がきたら後をパアッについてきて、余談の話やけど。とにかく掃除をしっかりとやっていこうやないかということで、我々もやっぱり鶴見区の区民である以上は、やはり地元の鶴見緑地があんな汚いこととかいうようなことでも困るし、以前から部会でもいろんな話出てました。トイレが汚いとか、草がぼうぼうでどうか、物が皆腐ってきて危ないとかいろんな話あったけど、これは我々が修理してどうかできません。しかしできる範囲というのは、例えば今申しましたように草むしりとか、例えばごみを拾うとかそんなことはできますので、私は個人的にいいことやなと思うてますけど。できるだけクリーングリーンも私は連合町会長として茨田南の町会長会議には必ず絶対参加してほしいという話はしてます。だんだんと同じこと言いますけど、少ないのでできるだけそれは参加を一人でも多く参加してもらうように、我々がやっぱり参加せんといかん。口だけで言うてほかの人に頼むんじゃそれはぐあい悪いんでね。私も参加するようにしますけども、言う以上はもっともっとたくさんきてもらうようにもっときれいにしましょう。今度はお存じのように公園も担当が変わったとかいうこと聞いてますので、またいろいろと担当も変わって、また新しい方まだ我々としても連合町会長としても言うことは言わせてもうて、やることはやるということで進めたいなと。ちょっと余談な話になりましたけどね。とにかく地元の鶴見緑地ですので、やっぱりきれいにやっていこうやないかというふうな私の考え方で皆さんに今後ともお願いしようかと思うてますので、またその点も3部会、部会でもそういうことも皆さんにお願いしたいと思っています。

以上でございます。

○宗宮委員 部会長ほめていただいているのに、追加するのもあれなんですけど、ちょっとアウトドアの厳選食博のまとめというのはまた出てくるとは思いますけれども、この取組み自体はこれまで大池の活用、ボートを浮かべるというのはさせてもらえなかったとか、あるいは緑地の中でパラグライダーを体験させるなんていうのはとんでもないというふうなところが、やっぱり民間の地元の取組みの中でそれが突破したというふうなことで、鶴見緑地の活用ということで言えば厳選食博、アウトドアのこの取組みというのはものすごく鶴見緑地の活用ということでいえば、幅を広げてくれたというふうに思いますから、そういった意味でこれからその鶴見緑地をどういうふうに活用していくのかということで、その突破口を有効に利用していくということで、区主催の取組みと、やっぱり連携していくということも考えていってもいいのではないかというふうに思います。とりわけ今回、今部会長からもありましたように、アウトドアの場合にはその2つの許可がなかなかおきなくて、ポスターが作れないという。ポスターが作れないイベントっていうのはあり得ないんですけどね。そういうイベントで今回行われたというふうなことだというふうに思いますので、これもまた発展していけるんじゃないかというふうには思っていますけれども、今回やってくれたことによって鶴見緑地の活用方法が広がってるんだということを、やっぱり鶴見区として最大限活用してもらいたいなというふうに思います。

○西田部会長 おっしゃるとおり。ありがとうございます。

ほかにどうでしょうか。何かまたほかにご意見がございましたら、お願いしたいと思います。

○奥本課長 今まで全委員皆さんからお声いただいたので、一つ一つお話をさせていただきたいと思うんですけども。先ほど一番初めおっしゃっていた横文字ですね。当然わかりやすい文章表現というのは重要だと思います。C B、S Bということも、使うべき場面については使わんとあかんと思うんですけど、その場面には注釈を入れ

たりとかそういった形でよりわかりやすい資料づくりをさせていただきたいなと思ってます。

あとコスプレなんですね。505名ですけれども、その登録講習を受けられた方が505名で、1回受けられたら次はもう別に受けなくていい、来て十分いいですよという形になるんで、延べの数ですね、もっともっと多い方が来られています。やはり街中、名古屋では街中がコスプレの方がいっぱいあふれるということなんですから、鶴見緑地でもかなり数が増えてきていまして、九州のほうでも鶴見緑地というのはコスプレの聖地であるということで。かなり人気というか有名になってきてますので、区役所としても支援をきちっとやっていきたいと思ってます。

○萩副区長　鶴見区でやってるのはコスプレのイベントをやってるわけではないんですね。あくまでマナーの向上のもとにやってる話なんです。僕一つびっくりしたことあるんですけども、先ほど奥本も言いましたけども、九州の人の話を聞くとものすごく有名なんですってね、鶴見って。聖地のような扱いをされてて。これだけの知名度があるので、長く楽しく使ってほしいというのが区役所の思いでありまして。なので講習会とかやって、いろんなバッシングもあるやろうから、そうならないためにやりたいというのが私達の思いですのでよろしくお願いします。

○奥本課長　宗宮委員おっしゃられていたその光の花栈敷とか、ブランドフェスティバル、区の職員が走り回ってるということです。ブランドフェスティバルにつきましては、地域の方のステージとか、食の取組みという形でも参画は徐々にいただきます。これを今後ブランドフェスティバルを開催するに当たって、どのような形で開催していくかというのは今後また地域の皆さんとも一緒に調整させていただかないといけないと思うんですけども、より地域の方々が利用しやすいとか、一緒に協働できるような形で考えていかなければと思ってます。

あと大原委員がおっしゃられた、そのパーセンテージですね。マイナスの部分42.9%も低いということですけど、当然年齢も加味してアンケートにつきましてはクロ

スデータではある資料として持っているんですけども、やはり分析をもうちょっと深くして、そのマイナス部分というのは一体どういうものなのか、どういうことをすればもっと伸びていくのかということも踏まえて、もう一度マイナスの取組みについてどう評価していくか。それをどうすればプラスに転換できるのかということも、考えさせていただきたいなというのは思います。先ほどおっしゃられたみたいに防犯パトロールを244回職員でやっております、そこのスピーカーを使って取組みについても広報、スピーカーでさせていただいているときもあります。防犯パトも広報の一つの手段とさせていただいています。

西村委員おっしゃられてた楽園会議。もともと純粋なボランティアの方たちで企画から運営実施まで全てやっていただいております、区役所としても非常に参考になる方々で、区役所として広報させていただいてるんですけども、もっともっと力になれるような形で、定例会議、区役所の職員も入って一緒に意見交換もずっとさせていただいています。そういう形を踏まえて今後より発展していきたいなと思っています。

○萩副区長 楽園会議のフォローについては、甚だ不十分やと思ってまして、ハチャメチャも行きましたけど、あれだけのことをやらせてもらって言葉悪いけど区役所ただ乗りしてるんじゃないかという話がね。だから今年度中にどんな支援ができるかというのはちょっと考えさせてもらって、なるべく物心ともにちゃんとフォローアップしないと、せっかくこんなボランティアでやらせているのに、長く続けられるような環境をつくりたいと思いますのでよろしくお願いします。

○小川課長 すみません、私申しおくれました広報戦略担当課長ということでこの4月に異動してきてまして、広報・広聴を担当させていただいております。今たくさんアンケートのこととか、広報のことでいろいろご意見とか貴重なのをいただいておりますので、私のほうから説明させていただきたいと思います。

まず、藤井委員のほうからおっしゃっていただいた、「つるみっ子だより」なんですけれども、今年の5月からということで、鶴見区の特性といたしまして、人口がた

くさん増えているんですけれども、子育て世代とか、子どもさんの人口がたくさん増えているという特性を踏まえまして、今年5月から初めて小学校を通じて、お子さんの手から保護者の方に渡していただくということで始めたものなんです。いろいろと今ご意見もありがたく頂戴しておりますので、来年度以降になるとは思いますが、来年度も予算の関係もございまして、私学に行っておられる生徒さんたちにどういうふうに配ったらいいのかとかいうことも踏まえて検討させていただきたいと思っております。ただこれ非常に反響が大きくて、サツマイモ載せたらこの「つるみっ子だより」を見て応募していただいたりとか、こちらの異文化交流につきましても区役所まで申込みをしていただかないといけなかったんですけれども、これをにぎりしめて申込みに来ていただいた方もおられると聞いてますので、非常に反響も大きいので考えていきたいと思っておりますし、私どもの広報紙とホームページとフェイスブックということで主にやってるんですけれども、ホームページとかフェイスブックではこういうのお配りしてますということで掲載もしておりますので、それをご覧いただいたらなというふうにも思っております。

それと西田部会長言っていた地活の広報ということで、私も昨年まで天王寺区におりまして、地活のことでなかなかパーセンテージが上がらないというのが悩みどころだったんですけれども、地域活動協議会ができたということを区役所でももっとPRをさせていただきたいと考えておりまして、今耐震工事をしてるんですけれども、それがリニューアルしたら1階の行政情報コーナーの一部を地域情報コーナーということにさせていただいて、地活の活動をPRするポスターをつくったりとか、地活でつくっておられる広報紙なんかもございますよね。それも置けるような形で、情報コーナーを一新しようかなというふうに考えております。

○萩副区長　　今ちょっと壁面にぱっと貼ってあるような状況なんで、あれをちゃんと一つのコーナーみたいにしたいと思っております。

○小川課長　　きれいにすると、あとそれぞれ広報紙もつくっていただいている、

それをちょっといただいて、そこに置いて配布するとかいうふうなのも考えたいなと思っております。

あと非常に広報ということで足りない、前からおっしゃっていただいているのも聞いてるんですけども、区の広報紙を全戸配布してます。全戸配布してますけれども、それをもっとPRしたいのがありますので、何とかそれも区内の広報板もありますよね、その下に毎月全戸配布してますいうのも掲示をしていきたいなとも考えてますし、あと広報紙以外のホームページ、フェイスブックということでもいろんな新しい情報も提供していきたいと思いますので、口コミも一番大事かなというのも思っておりますので、「区役所のほうでホームページやってんで」とか、「フェイスブックでいろんな情報流れてんで」というのも、皆様のお口からも広めていっていただけたらありがたいというふうに思っております。

あとアンケートということで大原委員からもおっしゃっていただいているんですけども、アンケート1,500人の無作為抽出ということでやっておりまして、鶴見緑地の魅力向上ということでは、今年の1月4日から19日までということで、回答率39.3%ということでしたんですけども、やっぱりアンケート今年度もやる予定はしてるんですけども、ただやるだけやなしにその分析いうのはきちんとやって、もっと広報紙とか、それとかホームページとかでもこの分析結果こうですというのをきちんとご報告はさせていただきたいなと考えております。年代別とかクロス集計もきちんとできますので、やっぱりそのクロス集計もきちんとさせていただいて、それも皆様方にお答えできるようにはしていきたいなと考えております。

以上でございます。

○奥本課長　藤井委員からおっしゃられたイベントの一過性のお話あったと思うんですけども、非常に貴重なご意見だと思います。こんないろんなイベントさせていただいておりますけれども、それを後に残るような効果が持続できるような企画というのは非常に重要だと思います。どういった方を対象にいつの時期にやるのか、どのよう

な方法で広報もしていったって、イベントを開催していくのかそれをまた来年以降どうしていくのかというのは、非常に重要な視点だと思います。対象を例えば子どもに限るだとか、大人に限るだとか、そうしたときにどのような効果がまた出てくるのかというのは、区役所としても当然考えていかなければならないと思っております。今までイベントを開催しておりまして、当然検証というのはしております。来年どうすればいいのか、どうすればもっともっと皆さんが楽しめるのか。同じ内容であれば当然マンネリ化もしてきますし、違う視点も必要というふうに考えておりまして、このイベントこれから漫然としていくということではなくて、当然どうすればいいのか再構築もしやなあかんと思いますので、そういった形で27年度、今イベントいろいろと取り組んでますけれども、それもやっていきたいと思ってますし、28年度以降もこういった形ですればいいのか、予算編成も含めて考えていきたいと思ってます。

○萩副区長　特にイベントについてはPDCAをきっちり回して、何が一番いいかというのを常にチェックしながら進めていきたいと思しますので、当然この区政会議でいろんなご意見をいただくのはものすごくいい参考になりますので、ぜひ気がついたことがありましたら、おっしゃっていただきたいと思っております。

○奥本課長　西田部会長がおっしゃられたそのクリーングリーンの参加者が少ないということです。当初これ平成23年から年2回、もともとのきっかけは区民の方が鶴見緑地に行かれて非常に汚いとお感じになられて、区民の方たちだけで掃除しようやないかということのお声があって、それが集まってクリーングリーンという実行委員会を結成されまして、それを区役所として活動支援させていただくということで、今まで関与させていただいておりまして。ただ参加者が当初は300人ぐらいだったのが、だんだん200人ぐらいになってまして、この間も200人弱ぐらいの方がいらっしゃいました。ただ非常に何回も何回もこられてる方もいらっしゃって、当然長袖、長ズボン、帽子もされたりとか、あと虫さされのためにスプレーされたりとか、非常に何回も来ていただいている活動者の方もいらっしゃいますので、そういった方々

を大事にしながら、より裾野が広がるように、参加者の方が広がるような形で区役所としても広報とか、そういう周知について力を入れていきたいというふうに思っています。

○西田部会長 ありがとうございます。今、奥本課長のほうからも詳しく皆様方のご意見に対しまして、お話いただきましてありがとうございます。なおこの本日のこの議題についても、会議についてもご存じのように6月30日全体の区政会議がございます。その場で私のほうから第1部会の今日の意見等をまとめていただきまして、報告させていただこうというように考えております。本日は本当に皆さんありがとうございます。貴重なご意見を出していただきまして、やはり委員会というものは、ただ出席するんじゃないに、皆さん個人個人に何かお話していただくということは、これは意義あるというふうに考えておりますので、今後ともよろしくお願いしたいと思えます。

それでは、何かありますか。

○宗宮委員 その他ということで、鶴見区のブランドということで緑地を軸にした組み立てということに、そのこと自体には正しいというふうに思ってるんですけども、ただ榎本で鶴見区のブランドということ考えたときに、4年後に大阪外環状線東線が開通するというので、まさに東の玄関口として榎本、放出、放出駅というのが4年後に一つの節目を迎えるやろうというふうに思うんですけども、今のところ開通、新大阪まで行けるという非常に立地の条件のいい、そういう意味で言うたら潜在的なブランド力を持っている条件があるというふうに思うんですけども、地元でもそのことについて何がしかの展開をするということが、全く手つかずであるというふうなことがあって、やっぱり鶴見区といたら鶴見緑地、中心が区役所のある横堤周辺ということにどうしてもなってしまうんですけども、やはり4年後の外環状線の開通というのは、鶴見区にとっても非常に大きな出来事やろうと思いますので、区のブランドといった場合にはその目線もぜひ検討していただきたいなというこ

とを思っています。

○奥本課長　まさしく今おっしゃられたみたいに、26年度まではその「緑地」ということをかなり重点的にやってきたんですけれども、この27年度につきましては、緑地も当然重要な一つのものと思うんですけれども、区全体に目を向けて、区全体の鶴見区の魅力を再認識するような、魅力スポットだとか歴史についても改めてわかるような事業、27年度について取り組んでいきたいと思っています。

○西田部会長　すみませんが、全体会議で報告するからそんな話も入れてください。今の話。これから緑地だけやなしに、12連合全体を見ながら今後考えていくということで、第1部会としてもそういうことは入れといてください。そうしてください。宗宮さんそういうことでご理解ください。

それでは今申しましたように、6月30日の全体会議には皆さん方の貴重なご意見を私のほうからまた報告させていただくとします。なお先ほど申しましたように、我々の任期がこの9月末ですか、終わるということですので、次の区政会議の委員会の公募につきまして、石川係長お願いします。

○石川係長　区政企画の担当をしています石川と申します。よろしくお願いします。私のほうから区政会議の時期、委員の募集についての案内・報告をさせていただきたいと思っております。

今日の資料の最後に入れさせていただいております、鶴見区区政会議委員を募集しますという文書に沿って説明をさせていただきます。先ほど部会長からございましたように、現在の委員の皆様の任期は9月30日までとなっております。つきましては、新たな公募委員の募集を行ってまいりたいと考えております。1枚目めくっていただきますと、鶴見区区政会議一般公募委員募集要項となっておりますので、そちらをご覧ください。

1番としまして応募資格につきましては、これまでと同様鶴見区在住、在勤、在学を条件とさせていただいております。また2の募集人員につきましても、前回の募集

時と同様に5名とさせていただきます。任期につきましては10月1日から29年の9月30日までの2年間にさせていただきます。応募方法につきましては、関心のある分野をテーマにしたレポートをご提出いただきますということでお願いをしたいと思います。前回につきましては、レポートの提出方法についてはご持参いただくか、郵送ということでお願いをしておりましたが、今回はメールでのご提出もいただけるようにさせていただきましたので、より幅広い方からのご応募があるかと考えております。募集期間につきましては、来月の7月1日から7月31日までの1カ月間とさせていただきます。区といたしましては、これまで区政や地域活動にあまり参加されてない方も含めまして、より多くの方のご応募をいただきたいと思いますと考えております。また鶴見区につきましては、子育て世代が多いという区の特性がございますので、特にお母さん方にもぜひ応募いただきたいと思いますと考えております。いろいろなところで広報はさせていただこうと思っておりますが、またお知り合いの方等いらっしゃいましたら、ぜひ区政会議の委員に応募いただけるようにお口添えいただけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたけれども、その他の欄にも書かせていただきました、現在委員をいただいている方につきましては、来季の委員についてもご応募いただけますので、もしよろしければご応募いただけたらと考えております。私のほうからの説明は以上です。

○西田部会長 ありがとうございます。ただいまご説明いただきました。何かこれにつきましてご意見ございましたらお願いします。ないでしょうか。いいですか。ありがとうございます。

それでは本日はこれもちまして、予定は完了ということでございます。議員さん今日は来ておられませんので、副区長のほうから最後、よろしくお願いします。

○萩副区長 活発なご議論ありがとうございました。皆様方からいただきました意見を一つでも多く実現できますように、区役所総体で頑張っていきますのでよろしく

お願いいたします。本日はありがとうございました。

○西田部会長 事務局のほうから連絡事項等ありましたら、お願いしたいと思えます。

○奥本課長 本日は、多くの貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。次回の会議の予定でございますが、第1回全体会を6月30日の火曜日19時から区役所の4階、403・404会議室で開催をさせていただきます。全体会では他の部会関連の自己評価につきましても、広くご意見を賜りたいと考えておりますので、お忙しいとは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

○西田部会長 ありがとうございます。

再度申します。6月30日ですので、一つ出席をよろしくお願い申し上げます。以上をもちまして第1部会1回目の部会会議滞りなく終了することができました。これも皆様方のおかげと感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます、これで閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

閉会 20時30分